

③平成30年度の取り組みについて

○在宅医療・介護連携推進懇談会の開催（1～2回/年）

目的：在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討をする。

：事業項目(イ)

切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築を推進する。

：事業項目(ウ)

○瑞浪市在宅歯科医療連携室の運営

目的：在宅歯科医療連携窓口を設置し、地域における医師や介護支援専門員と地域歯科医療との連携を強化する。

瑞浪歯科医師会に連携室運業務を委託する。：事業項目(オ)

○医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターを配置する。

目的：在宅医療・介護連携に関する相談窓口を設置、運営により、連携の取り組みを支援する。：事業項目(オ)

配置先：地域包括支援センターに1名

○医療・介護関係者への研修（年2回）

目的：人材の養成：事業項目(カ)

時期は10月、2月ごろを予定。内容は検討中。

多職種連携会議（年1回）：地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得。11月ごろを予定。

○地域住民への普及啓発

：事業項目(キ)

市民講座：12月16日（日）13時30分から15時

瑞浪市総合文化センター 3階講堂

テーマ「○○検討中○○」

岐阜市 小笠原内科院長 小笠原文雄先生

代表的な著書「なんとめでたいご臨終」

○岐阜県が実施する「在宅医療介護連携推進研究会 東濃圏域」に参加し、

関係市との情報交換や課題について検討する。：事業項目(ク)